

氏名

片岡 敬一

学位の種類 医学博士

学位授与番号 乙 第 1239 号

学位授与の日付 昭和56年12月31日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第5条第2項該当)

学位論文題目 Human Placental Lactogen in Blood and Blood Stains for the Identification of Pregnancy.
Human Placental Lactogen (HPL) による妊娠血の鑑別

論文審査委員 教授 関場 香 教授 粟井通泰 教授 産賀敏彦

学位論文内容の要旨

被疑者の衣服等に付着した血痕あるいは犯罪現場の血痕が妊娠血であるかどうかの鑑別が出来れば法医学上有意義であるが、それを鑑別する方法は今日まだ確立されていない。著者は胎盤で產生される妊娠特異蛋白 Human Placental Lactogen (HPL) を Radioimmunoassay 及び赤血球凝集反応 (HAR) 法により検討し、妊娠血及び血痕の法医学的証明に関する実験を行なった。その結果非妊娠女性血、男性血、臍帯血、産褥血との鑑別が可能であり、3年半経過した陳旧妊娠血痕でも鑑別が出来た。したがって HPL 検出による妊娠血の証明は法医学上有用であると云える。

論文審査の結果の要旨

法医学上血痕が妊娠血であるかどうか鑑別する方法は今日充分確立されているとは言えない。本論文では胎盤で產生される妊娠特異蛋白 (HPL) を Radioimmunoassay 及び赤血球凝集反応法により検討し、妊娠血及び血痕の法医学的証明の実験を行い、非妊娠女性、男性、臍帯血、産褥血との鑑別が3年半経過した時点でも鑑別できることを見出し、法医学上の有用性を証明した。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。